

## 第 2 5 回 J M R C 東北 定 時 総 会 議 事 録

開催日時：2004年3月7日(日) 13:00～15:00

会 場：スポーツランドSUGO内ホテルくぬぎ山荘ファンクションAルーム

小野事務局長の司会で会議が開催された。

1. 開会の辞 佐藤副委員長により開会の宣言が行われた。
2. 代表挨拶 中村委員長の挨拶。一年間の活動が無事終了した事。会員各位の協力と委員の方々の努力に対して感謝の言葉が述べられた。
3. 議長選出 議長に伊藤委員(MSCあきた)副議長に佐々木委員(ふうりん)を選出

### 4. 議 題

#### (1) 活動報告

中村委員長より、7回開催された委員会報告、特に予算の見直しを行い無事予算内で1年間活動できた事、審査委員グループの活動が充実してきた事、モータースポーツ表彰式が盛況だった事、審判員講習会を開催した事等の報告がなされた。

JMRCオールスターのあり方について振興会と検討した事、共済会の範囲について検討している事等が報告された。

仲野リーダーより会議を3回開いた事の報告が行われ、交通費も支給しなかった事等が報告された。

#### (2) 専門部会活動報告

レース部会 米森部会長より、東北の現状とランサーが本レースとしてスタートする事、新たに耐久レースを開催する事等が報告された。

ラリー部会 山本部会長より、2戦中止になった事、ラリーセミナーを開催した事、練習会を行った事等が報告された。今年も続けていくとの事であった。

ジムカーナ部会 大谷部会長より、JMRC東北シリーズのクラス分けが5クラスだった事、南北シリーズの表彰を仙台ハイランドで行った事が報告された。

ダートトライアル部会 日向部会長より、会議の議事報告、収支に付いての報告がなされた。

共済会部会 小野部会長より、全日本ラリーの事故により死亡者(大竹氏:関東)が出たので共同共済より給付1件あった事が報告された。

#### (3) 支部活動報告

青森支部：日向支部委員が支部会報告を行った。

岩手支部：小野寺支部事務局が県内で開催された大会は無事終了した事を報告。

秋田支部：山本支部長が10月11・12・13日に行われた秋田モータースポーツフェスティバルに付いて(ジムカーナ・ヒルクライム・懇親会・デュアルスラローム等)の報告を行った。

山形支部：仲野支部長が報告を行った。

宮城支部：中村支部長が支部会報告を行った。

福島支部：菅野副支部長がJ M R Cオールスターの開催が来年になったが是非成功させたいとの事であった。

( 4 ) 会計報告 小野事務局長より決算書に沿って内容説明が行われ、繰越金が前年度を上回った事が報告された。最後に会計監査を終了している事が報告された。

( 5 ) 共済会会計報告 小野事務局長より給付が1件(全国)あったことが報告された。ペイオフに対処する上で預金口座を3行に分けた事が報告された。

会計監査を行った加藤氏吉野氏が総会に出席していたので議長により報告が求められ、両氏により会計監査の結果全て適正であったとの報告が改めて行われた。

( 6 ) 活動計画 中村委員長より、J M R Cオールスターにより参加して欲しい事、各部会に対策等の提案をして欲しい事、安全に対する考え方をより徹底する事、審査委員グループの提案でメディカルキットを出したい事、ヒルクライム競技を開催したい事、レースで8月15日に耐久レースをSUGOで開催する事6月と10月にも2時間耐久を開催する事(J M R C東日本地区として)、将来はJ M R Cオールスターのレース部門に発展させたい事、イヤープックは各クラブ2部と共済加入者に配布する事(クラブを通じて)等が提案された。

( 7 ) 予算案 小野事務局長より提案内容、趣旨の説明が行われた。

議長により質疑が行われたが質問が無く、続いて1.審査委員グループを専門部会にする事、2.グループの活動費として5万円計上する事、3.レース部会の活動費を2万円の増額する事、以上3件と予算案に関して承認が求められ、全会一致で承認された。

( 8 ) その他 メディカルキットに付いて提案がなされ、承認された。費用は予備費を充てる事とし6支部の事務局に管理をお願いする事とした。委員長より追加提案があり、11月に審判員講習会の開催、レスキュー講習会等も計画して行きたいとの事であった。

5.議長・副議長退席

6.閉会の辞 佐藤副委員長の挨拶と閉会宣言が行われ会は閉会した。

以上議事録とする。

2004年3月7日

議長 伊藤 久 副議長 佐々木 松紀